

## 第3章 基本理念・基本方針

### 3-1 基本理念

新庁舎建設にあたって「新庁舎建設基本構想」において、現庁舎の課題を解決し、これからの庁舎に求められる役割や市民が誇りを持てる庁舎とするため、以下のとおり基本理念・基本方針を定めました。

基本理念は、庁舎整備についての基本的考え方を示したもので、基本方針は、基本理念を達成するための具体的な方針を示したものです。

新庁舎は、市役所の利用形態の変化や行政サービスのあり方の変化など、将来の社会変化への柔軟な対応が求められます。また、東日本大震災の教訓を生かし、他の防災関連施設との連携強化と機能の充実も求められます。

このため、市民に開かれ、防災機能が充実し、行政運営の進化にも対応可能な新庁舎を整備していきます。

#### 〔 基本理念 〕

- I 誰にも優しく開かれた庁舎
- II 防災機能の充実と連携強化
- III 行政運営の進化への対応

#### 〔 庁舎位置の基本方針 〕

- 1 市民が利用しやすい位置
- 2 防災上の安全性が高く、  
防災上の連携を考慮した位置
- 3 市全体のまちづくりを  
考慮した位置
- 4 事業の経済性等を  
考慮した位置

#### 〔 庁舎機能・性能の基本方針 〕

- 1 市民の利便性の向上や  
協働空間を提供する庁舎
- 2 誰にでもやさしい  
ユニバーサルデザインの庁舎
- 3 市民の安全・安心を支える  
防災機能が充実した庁舎
- 4 環境にやさしく  
ランニングコストを考慮した庁舎
- 5 機能的で効率的な  
行政機能を実現する庁舎

## 3-2 庁舎位置の基本方針

基本理念を実現するために、「新庁舎建設基本構想」において、新庁舎建設位置を選定する際の「庁舎位置の基本方針」の基本的考え方を以下のとおり定めました。

### 基本方針1 市民が利用しやすい位置

市庁舎は多くの市民等が利用する施設であることから、自動車や公共交通機関（路線バス・BRT など）によるアクセスのしやすさやその可能性について考慮するとともに、近隣からの徒歩や自転車などでのアクセスも考慮した、誰もが行きやすく、利用しやすい位置とします。

### 基本方針2 防災上の安全性が高く、防災上の連携を考慮した位置

市庁舎は市全体の中心的な防災拠点として機能する必要があることから、自然災害（津波、洪水、土砂災害など）の影響を最小限に抑えることができるとともに、他の防災拠点（防災センター、防災物資配送地など）との連携がしやすい位置とします。

### 基本方針3 市全体のまちづくりを考慮した位置

市庁舎は市の中心施設のひとつであることから、市の現在の状況を踏まえ、将来を見据えた、市全体のまちづくりにも貢献できるよう、市の主要施設や周辺商店街等との連携により、市民の利便性やまちのにぎわいの創出が期待される位置とします。

### 基本方針4 事業の経済性等を考慮した位置

市庁舎の整備は市の財政に与える影響が大きいことから、新庁舎の建設費だけではなく、既存建物の解体費や移転費用等も含めた総事業費をできるだけ抑えるとともに、現庁舎が古く耐震補強もされていない状況から、できるだけ早く整備を完了することが可能な位置とします。

### 3-3 庁舎機能・性能の基本方針

基本理念を実現するために、「新庁舎建設基本構想」において、新庁舎の導入機能・性能を検討する際の「庁舎機能・性能の基本方針」の基本的考え方を以下のとおり定めました。

#### **基本方針1 市民の利便性の向上や協働空間を提供する庁舎**

市民の利用が多い届出、申請等において、行革による簡素化を目指すとともに、総合窓口を設置、ワンストップ化を推進し市民サービスの向上を目指します。

また、市民が集い、憩い、まちづくりやコミュニティ活動などにも活用できる空間や場を提供します。

併せて、将来の利用目的の変化にも柔軟に対応できる工夫を施した設計とします。

#### **基本方針2 誰にでもやさしいユニバーサルデザインの庁舎**

高齢者や障がい者、小さな子どもを連れた親子、外国人など、様々な人が利用することを視野に入れ、誰にでもわかりやすく、使いやすい施設としてユニバーサルデザインを導入するなど、利用者の視点に立ったやさしい庁舎を目指します。

#### **基本方針3 市民の安全・安心を支える防災機能が充実した庁舎**

耐震性を確保し、安心して利用できる建物とするとともに、災害発生時には、災害対策活動の中核として、市民の生活を守り、迅速な支援や復旧活動等を行うことができる様々な機能を備えた、安全・安心な庁舎を目指します。

#### **基本方針4 環境にやさしくランニングコストを配慮した庁舎**

省エネ、創エネ（太陽光発電等）、自然エネルギー（自然採光、自然通風等）、省資源等について、可能な限り取り入れるとともに、維持管理がしやすい構造や材料の導入などにより、ライフサイクルコストの低減と施設の長寿命化を目指します。

#### **基本方針5 機能的で効率的な行政機能を実現する庁舎**

適正な執務空間の確保や、今後の行政需要の多様化や社会情勢の変化、進化する情報通信技術等、様々な変化に対応可能な設備や空間を導入し、機能的で効率的な柔軟性の高い行政機能を兼ね備えた庁舎を目指します。